

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 くちにんどがわ 口仁入道川	篠山市 ふくずみ 福住	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市福住				H25	H27
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者施設を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m, L = 60.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)加古川水系水無川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の土砂が流出するなど、荒廃が進行している。 ・溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。 ・谷出口は災害時要援護者関連施設である、特別養護老人ホームがあり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ200m、最大幅150m程度)に及ぶ。 ・特別養護老人ホーム「山ゆりホーム」(災害時要援護者施設)、国道173号				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・特に防災上の配慮を要する災害時要援護者関連施設を保全することにより、土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な特別養護老人ホームがあることから、早期着手に対する地元からの要望が強い。また、国道の保全効果も期待できる。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

くちにんどがわ
口仁入道川
[篠山市]



計画概略図
縮尺 1 : 4 , 0 0 0

